

なにわ風俗を描く



浪速堀江市之側之図
余幼時亦於浪速堀江市之側被遊之時亦有此圖之景况也
此圖以浪速堀江市之側為主題
以浪速堀江市之側為主題
以浪速堀江市之側為主題

「浪速堀江市之側之図」(個人蔵)

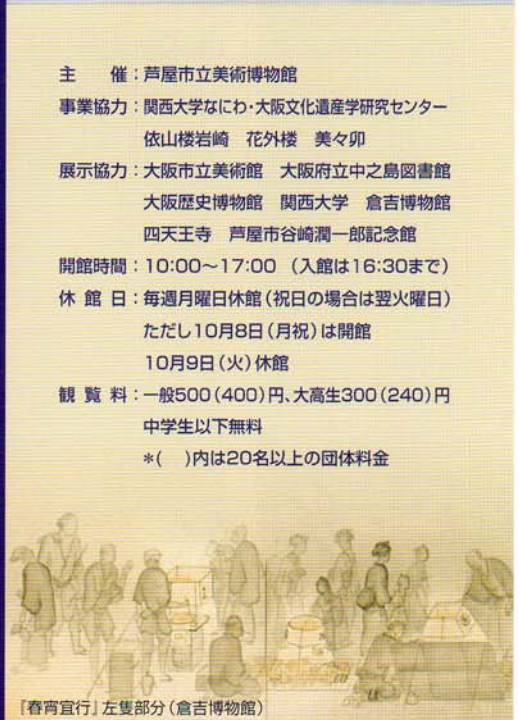
平成19年10月6日(土)〜11月18日(日)

菅楯彦の世界

はんなりと浪速流



「拔頭廻鼓図」(四天王寺)



「春宵宣行」左隻部分(倉吉博物館)

主催：芦屋市立美術館

事業協力：関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究所
依山楼岩崎 花外楼 美々卯

展示協力：大阪市立美術館 大阪府立中之島図書館
大阪歴史博物館 関西大学 倉吉博物館
四天王寺 芦屋市谷崎潤一郎記念館

開館時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日：毎週月曜日休館(祝日の場合は翌火曜日)

ただし10月8日(月祝)は開館

10月9日(火)休館

観覧料：一般500(400)円・大高生300(240)円

中学生以下無料

*()内は20名以上の団体料金



芦屋市立美術館

659-0052 芦屋市伊勢町12-25 / tel.0797-38-5432

Ashiya City Museum of Art & History

12-25 Ise-cho, Ashiya City, 659-0052 Japan / tel.+81-797-38-5432

<http://www.ashiya-web.or.jp/museum/>

浪華風俗を描く 菅 楯彦の世界

芦屋は大阪の奥座敷と言われるように受け継がれた文化的遺産は大阪文化を偲ばせるものが多い地域といえます。なかでも床の間を飾る書画には大阪画壇の作品が見受けられます。四条派の系譜を紹介した昨年に引き続き、今回は楯彦さんと愛着をもって呼ばれた浪華の風俗画家、菅 楯彦(すがたてひこ 1878~1963)に焦点をあてた展覧会です。

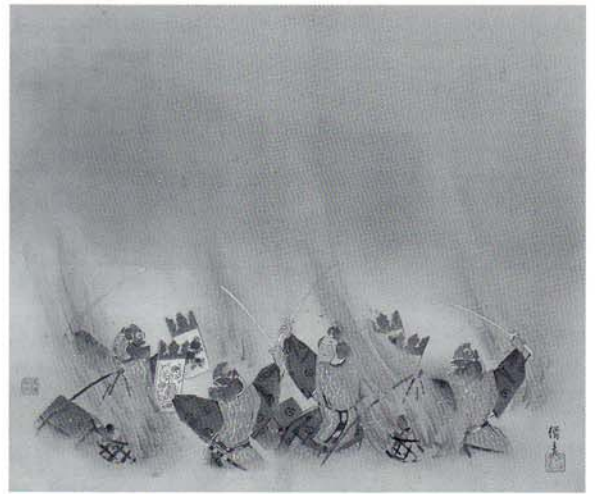
明治11年、楯彦(本名菅藤太郎)は日本画家菅盛南の長男として鳥取市に生まれ、幼少の頃大阪に移り住んでからは終生大阪で暮らしました。狩野派、四条派、浮世絵を独学で学び、中国絵画や仏教美術の他、漢学、国学にも造詣が深かったことで知られます。これら身に備えた知識技芸をもとに、楯彦は明治から昭和にかけて大阪画壇に独自の基盤を築きました。

本展覧会では貴重な楯彦日記を含め、約200点の作品資料により、楯彦の画業のみならず、富田屋八千代(名妓)として一世を風靡しながら、その短い一生をおえるまで楯彦を支えた八千代夫人(美記子)との交流も併せて紹介します。

軽妙洒脱と評されるその作品に古き良き大阪の情緒を、ひいては懐かしき芦屋の床の間の面影を感じていただければ幸いです。



『嵯峨野』(個人)



『舞楽陪隨』(四天王寺)



『毘盧迦那御手』(個人)



『浪花文人図』(大阪府立中之島図書館)



『住吉御田植女』(大阪府立中之島図書館)

連続講座：◎10月 7日(日)「菅楯彦と風俗画」 明尾圭造(本館学芸課長)
◎10月14日(日)「菅楯彦とその時代」 肥田睦三(元関西大学教授)
◎10月28日(日)「菅楯彦とは…?」 前田明範(倉吉博物館長)

会場：いずれも本館講義室にて14:00~15:30(定員50名)

受講料：3,000円(入館料込) 各回ともブレンドコーヒー・菓子付

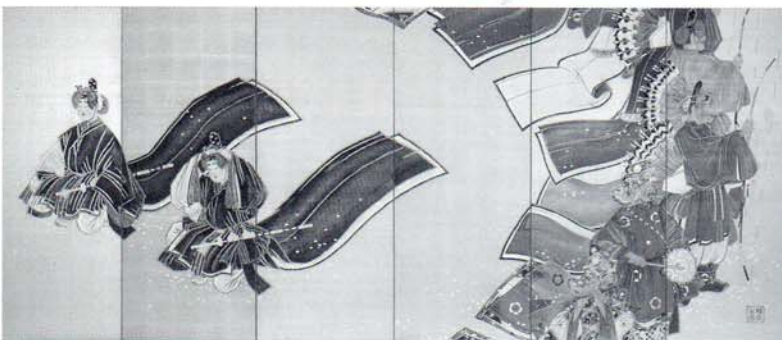
申込：住所・氏名・年齢・電話番号を往復ハガキに明記の上、下記迄
9月25日(火)必着
〒659-0052 芦屋市伊勢町12-25 芦屋市立美術博物館
菅楯彦連続講座係

展示解説：本館学芸員による列品解説(要観覧券)

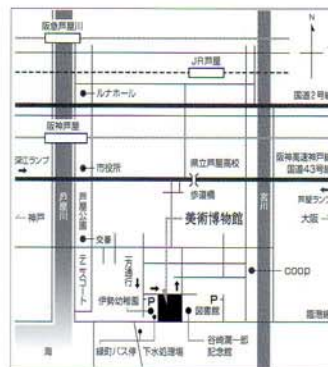
◎10月20日(土)午前11時からの列品解説後、喫茶ルポにて軽食をとりながら 学芸員とのトークタイム(観覧料込参加費1,000円)
お申し込みは当館(0797-38-5432)まで、定員15名

◎10月6日(土)・同20日(土)・11月3日(土・祝)
いずれも、午前11時から解説(約30分)

※会期中、一部展示替えがあります。(詳しくはお問い合わせください)



『舞楽青海波』六曲一双右隻(倉吉博物館)



芦屋市立美術博物館

【徒歩】阪神電車芦屋駅から南東へ約15分
【阪急バス】阪急電鉄芦屋川駅南側5番のりば 26・31・32・36系統
JR芦屋駅北側5番のりば 20・29・32・36系統
阪神電車芦屋駅南側市役所西側2番のりば 20・26・29・31・32・36系統、いずれも「緑町」停留所下車



MIYAKO



芦屋市立美術博物館

Ashiya City Museum of Art & History